



2022年4月28日

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社
アウディ ジャパン
プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120 - 598 - 106
アウディ コミュニケーションセンター

e-tron と巡る「Audi Sustainable Future Tour Maniwa」

- ゼロカーボンシティの先駆けである岡山県真庭市を訪問
- 真庭バイオマス発電所で地産地消の発電施設見学
- 真庭市長、岡山大学の大学院生と未来共創ミーティングを開催
- デスティネーションチャージャーを真庭市に寄贈

アウディ ジャパン（東京都品川区：ブランド ディレクター マティアス シェーパース）は、2022年4月13日から2日間、SDGs 未来都市であり、ゼロカーボンシティの先駆けである岡山県真庭市を訪問し、持続可能な未来を e-tron で巡りました。「Audi Sustainable Future Tour」は、アウディが電気自動車 e-tron を導入し、環境に貢献するという単純なストーリーではなく、アウディのブランドビジョンである「Future is an Attitude（未来は 考え方ひとつ）」を通じ、CO₂の排出や地球温暖化など持続可能な社会の実現の重要性について、一人ひとりが考えるきっかけの場を作っていくことが目的で、今後も開催していく予定です。

初日、岡山桃太郎空港に到着後、真庭市勝山にある御前酒蔵元辻本店がライフスタイル発信の地として運営する西蔵を訪れ、七代目蔵元の辻 総一郎氏より、昔ながらの技法を用いて地元で生産されるお米を使用した日本酒造りや、近隣の多様な企業とアイデアを出し合って作られた紅こうじ米酢の製造に至った経緯など、若い世代が中心となり地域一丸で地域活性化をおこなっている様子を伺いました。

次に真庭市役所を訪れ、太田 昇市長を表敬訪問し、ゼロカーボンシティの先駆けのきっかけや、実際の取組について伺い、その取り組みの一つである市役所の施設内に設置されているバイオマスボイラーを見学しました。市内で採取される木材から作られる木材チップ、ペレットで作られる熱循環システムにより市庁舎を快適にする仕組みについて説明を受け、市内にあるバイオマス発電所で作られた電気供給されている急速充電器で e-tron の充電体験をおこないました。

真庭市役所を出発した後は、同市の中心である木材のみを燃料にしたバイオマス発電で稼働している真庭バイオマス発電所を訪問しました。市内の山林で発生する間伐材や製材所で排出される端材を業者より買い取り、施設内の集積所で木質チップにされた後、バイオマス発電に活用されます。バイオマス活用により、化石燃料代替量が増えエネルギー自給率が向上するとともに、二酸化炭素排出の抑制、新たな地域雇用の拡大につながるなど、持続可能な社会の実現に貢献しています。この木質バイオマス発電によって作られた電力は街づくりの中心となり、地元の木材資源を最大限に活用するとともに、地域循環型経済の確立とゼロカーボンシティを目標にしています。

2日目は、蒜山の豊かな自然の中にあるサステナブルの価値を身近に体験できる観光文化発信拠点施設である Greenable HIRUZEN にて、未来共創ミーティングと題し、SDGs を推進する真庭市長の太田 昇氏、SDGs で地域、世界に貢献することを掲げる岡山大学工学部学術研究院自然科学学域の河原 伸幸教授、大学院生の藤田 友輝さん、今村 陽子さん、兼信 みのりさん、有森 匠さん、そして日本での電動化シフトを加速するアウディ ジャパンブランド ディレクターのマティアス シェーパースが、今後 2030 年までにそれぞれが目指すもの、電気自動車やクリーンエネルギーの普及手段などの意見交換をしました。産官学で世界、日本そして岡山県の新しい未来の形について議論し、未来を担う学生

からは多くの課題提起や質問がありました。また、オブザーバーとして参加頂いた Audi 岡山やメディアの皆さまからも個々の持続可能性の実現に向けた取り組みや考えなどの共有があり、会場参加者が一体となったミーティングになりました。共創ミーティングの最後に、アウディ ジャパンより目的地充電として使用できるデスティネーションチャージャーを岡山県真庭市に寄贈しました。今後寄贈されたデスティネーションチャージャーは蒜山を訪れる電気自動車を迎え、バイオマス発電により作られた電気で供給が行われます。

ツアー最後は真庭あぐりガーデンにて、真庭市が取り組む生ごみを液肥やバイオガスに再資源化する取組を活かした野菜作り、安全な食材の地産地消、そして地域が一体となって食材の加工に取り組むことで達成される地域雇用の促進など、ツアーを通じて真庭市で完結する循環型社会の構造についてゼネラルマネージャー 三村 伸行氏より話を伺いました。

アウディは Vorsprung 2030 のブランド戦略を基に、CO₂の排出や地球温暖化に対してクリーンテクノロジーを活用した解決を目指しています。2033 年には一部地域を除いた内燃エンジン生産を停止することを決定しており、日本市場では電気自動車モデルである e-tron シリーズの 7 モデルについて既に発表をおこなっており、2024 年までに 15 モデル以上の電気自動車を導入することを公表しており、電動化戦略を加速させています。

また、2022 年度内に全国の e-tron 店で 150kW 急速充電器を 52 基設置するとともに新たに e-tron 店に転換するディーラーにも設置をおこない、150kW 出力の急速充電器を設置するディーラーの数は、今後 120 店舗を目指します。さらに、ポルシェジャパンと日本国内での 150kW 急速充電器のネットワーク拡充業務締結を先日発表した「Premium Charging Alliance (プレミアム チャージング アライアンス)」では、ポルシェジャパンが保有する 42 拠点 50 基の 150kW 急速充電器を 2022 年 7 月より利用可能となり、電気自動車の利便性の向上を促進していきます。

今後も e-tron と巡る「Audi Sustainable Future Tour」を通し、持続可能な社会の実現の重要性について積極的に発信してまいります。

e-tron と巡る「Audi Sustainable Future Tour Maniwa」ハイライト動画

<https://youtu.be/43Nqe6urFc>